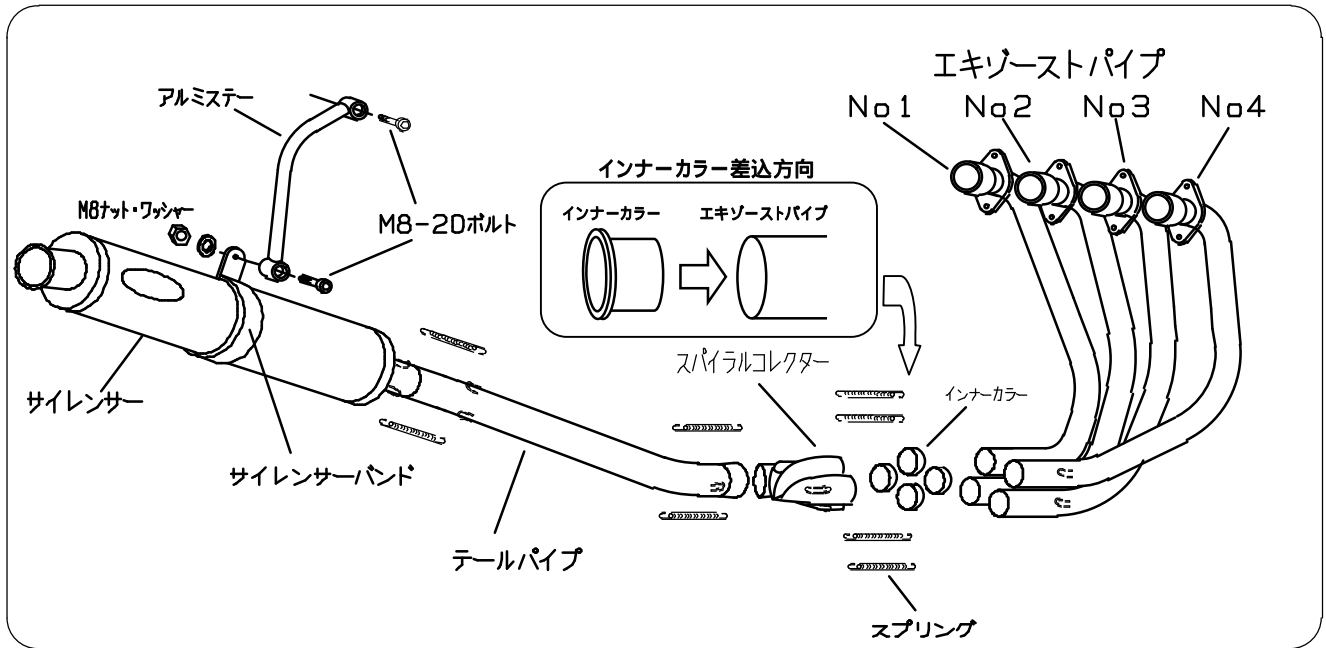


この度は、ノジマ FASARM マフラーをお買い上げ頂き誠にありがとうございます。
マフラーの取り付けに関しましては、メーカーサービスマニュアルとこの説明書をよくお読み頂き、必ずエンジンが冷えた状態で作業を行って下さい。
適合車種は、XJR1200 / 1300(-06) 用(STD サルファーは 02 年式までの対応) となっております。その他の機種には取り付けられませんのでご注意ください。
取り付け作業に、ご不明な点などございましたら、当社までお問い合わせ下さい。



1 スタンダードマフラーを取り外します。

まず、スタンダードマフラーを取り外します。このマフラー取り外しの際のボルト、ナット類はマフラーを取り付けるときに使用しますので無くさないように注意して下さい。また、ガスケットは新品に交換して下さい。

2 センタースタンドストッパーの取り付け

車体左側のセンタースタンドのボルトを外し付属のセンタースタンドストッパーを取り付けて下さい。(写真参照)

3 マフラーを取り付けます。

a エキゾーストパイプのエンジンへの取り付け

エンジンにエキゾーストパイプ No1, No2, No3, No4 を取り付けます。この時、フランジ部のナットは仮止めの状態(取り付けたパイプが少し動く程度)にしておいて下さい。(~ の識別シールは装着後では剥し難いため、番号確認後、組付け前に剥すことをお勧めします。続いて取り付けるスパイラルコレクター部分も同様に行ってください。)次に No1 ~ 4の各エキゾーストパイプにインナーカラーを挿入します。(インナーカラーは性能確保のため大変重要です。必ずエキゾーストパイプに取り付けてください。)

	部品名	数量
1	エキゾーストパイプ No 1	1
2	エキゾーストパイプ No 2	1
3	エキゾーストパイプ No 3	1
4	エキゾーストパイプ No 4	1
5	インナーカラー	4
6	スパイラルコレクター (SC)	1
7	テールパイプ	1
8	サイレンサー	1
9	サイレンサーバンド	1
	帯ゴム	1
	アルミステー	1
10	ボルト M8x20	2
	ナット M8	1
	ワッシャー M8	1
11	スプリング	8
12	スタンドストッパー	1



b テールパイプの取り付け

スパイラルコレクター(以下SC)の差込部内側にシリコンボンド等を薄く塗布し、SCをエキゾーストパイプの番号に合わせて差し込みます。入りにくい場合はプラスチックハンマーなどで、エキゾーストパイプを前方向からキズを付けないように注意して、軽く叩いて下さい。

テールパイプの差込部内側にシリコンボンド等を塗布し、SCへ差し込みます。この時ドレンホースがテールパイプに干渉する場合があります。干渉しないようにホースの取りまわしを変更して下さい。最後にSCとエキゾーストパイプ部(4本)、SCとテールパイプ(2本)にスプリングを掛けます。

c サイレンサーの取り付け

テールパイプにサイレンサーを差し込み、サイレンサーとテールパイプにスプリングを掛けます。

d サイレンサーバンドの取り付け

リアショック上部のボルト()を取り外し、付属のボルトにねじロック剤を塗りアルミステアーを仮止めして下さい。

次にサイレンサーにサイレンサーバンドを後ろから差し込み図のように組み立てて、仮止めして下さい。

()専用工具 トルクス(穴あき) T40番

1200にはヘキサゴンレンチ(6mm)のものもあります。

e 本締め

仮止めしたフランジ部のナットを本締めします。この際、フランジ部が傾いたりしないよう、左右のナットは均等に締め込んで下さい。また、締め過ぎはスタッドボルトの破損を招きます。ご注意下さい。最後に、アルミステアー・サイレンサーバンドのボルト、ナットを本締めして下さい。

f 車体との干渉確認

始動前に、各部の車体との干渉を確認、調整してください。

車体により、稀にセンタースタンドの右図 印の隙間が無いものがあります。サイドスタンドを掛けた状態のまま、センタースタンドを手で動かして、右図 印の位置が干渉する場合、一度フランジを緩め全体を調整し直して下さい。それでも干渉が解消されない場合は、センタースタンドを取り外し、干渉しない所までサンダー等でセンタースタンドの干渉部分をカットして下さい(右図参照)。

4 最終確認

以上で作業は終了です。マフラーに付着した汚れをよく拭き取ってからエンジンを始動して下さい。エンジンを始動したら、再度車体への干渉、排気漏れ等がないかどうか確認して下さい。

5 キャブレターセッティングについて

ファサームマフラーは、すべてスタンダードの状態です。性能を発揮するよう設計されております。従ってキャブレターのジェットの変更等、必要はありません。

！ 注

グラスウールは消耗品です。グラスウールの量が少ない状態で走行するとサイレンサーの故障につながる場合があります。当社にてグラスウール交換も行っております。走行時、走行後は大変マフラーが高温になっています。火傷に気を付けてください。サーキット以外では決してパッフルを外さないで下さい。シンナー等の強力な有機溶剤は本製品には使用しないで下さい。

事故や転倒による修理につきましては、お受けできるケースと修理不可能な場合がありますが、ご依頼の際は一度お電話にてお問い合わせ下さい。その他マフラー、オートバイなどに関して質問がございましたらお気軽にご連絡下さい。

NOJIMA ENGINEERING

〒513-0825 三重県鈴鹿市住吉町7265-7 TEL 0593(78)3505 FAX 0593(70)7811

NTX205

